

令和2年度 事業評価書

事業概要

国や県と連携し、篠島・日間賀島住民の生活の安定と福祉の向上を目的に離島振興を図ります

担当課 まちづくり推進室
地域振興係 内線322・323

予算科目

2 款 1 項 8 目 3 事業 離島振興費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------|-------|-----|------|---------|----|----------|-----|-----|------|----------|
| 予算額 | 30,939千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 8,460千円 | 町債 | 12,000千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 10,479千円 |
| 決算額 | 29,200千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 7,341千円 | 町債 | 12,000千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 9,859千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 離島振興事業 | 離島交通費助成事業 |
|----------|--|-------------------------------|
| 事業内容 | アイランダーなどPRイベントへ参加し、離島PR活動を行います。離島振興事業の内容をまとめ、全国離島振興協議会を通じ、国に対して要望します。両島への光通信サービス導入に係る補助をおこなうことにより、離島住民等の負担の軽減と格差是正を図ります。 ・離島光通信サービス導入事業補助金 12,000千円（新規） | 篠島・日間賀島住民に対して海上交通費の運賃助成を行います。 |
| 基本施策① ※① | 2-4 何度も訪れたい観光・交流 | 3-5 暮らしを支える地域公共交通 |
| 基本施策② ※① | 3-4 安心な暮らしを支えるインフラ | 3-4 安心な暮らしを支えるインフラ |
| 基本施策③ ※① | | |
| 重点政策 ※② | 1 ② ③ | 1 2 ③ |

実施 (DO)

| 主な事業 | 離島振興事業 | 離島交通費助成事業 |
|----------|--|--|
| 予算額 | 12,723,000円 | 18,216,000円 |
| 決算額 | 12,413,196円 | 16,787,160円 |
| 財源（一般財源） | 413,196円 | 9,445,740円 |
| （その他） | 12,000,000円 | 7,341,420円 |
| 執行率 | 97.6% | 92.2% |
| 事業実績 | ・全国離島振興協議会を通じ、国に対して要望を提出（令和2年5月8日） ・アイランダー2020に出展（令和2年11月23日 オンライン開催） ・離島住民等の負担の軽減と格差是正を図るため離島光通信サービス導入事業の実施 | ・篠島・日間賀島住民に対して海上交通費の運賃助成を行った。 利用率 大人 85.6% 小人 64.1% |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 国に対する要望活動の実施 | 助成対象者全員に割引券を配布します。 |
|------------------|------------------------------------|--|
| 目標値 | 1回/年 | 利用率90% |
| 実績値 | 1回/年 | 大人85.6% 小人64.1% |
| 達成度 | 達成 | 未達成 |
| 担当課評価 ※③ | コロナ禍での書面決議やオンラインでの要望となったが目標を達成できた。 | コロナ禍の緊急事態宣言などに伴い、離島からの外出などを控えたことが利用率の減少に繋がったと思われる。 |
| 基本施策有効評価（妥当性） ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |
| 費用対効果評価（効率性） ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | アイランダーなどのPRイベントがオンラインとなってしまうと、説明をしても現地の雰囲気などが感じられないため効果が薄くなってしまふ。 | 今年度はコロナ禍のため利用率が低下したと思われるが、感染症が収束した後の利用率向上が課題である。 |
|---------|---|--|
| 改善・対応策 | 緊急事態宣言が出ていない場合は、なるべく現地に出向いてPR活動を図る。また、オンラインイベントプロモーション可能な宣材を用意する。 | 以前は割引券の受け取りに印鑑が必要であったが、押印の見直しにより受け取りやすくとともに、広報などでPRを図り利用率向上に努める。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | B |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価（妥当性）…基本施策に対する有効性の高低（効率性）…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要

地域のまちづくり協議会（7団体）の情報共有と連携及び情報発信のため、南知多町まちづくり協議会を運営するとともに、移住定住者が積極的な参加・交流のできるまちづくりを進めます

担当課 まちづくり推進室
地域振興係 内線322・323

予算科目

2 款 1 項 8 目 4 事業 まちづくり推進事業費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------|-------|---------|------|-------|----|-----|-----|---------|------|---------|
| 予算額 | 14,674千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 6,391千円 | 県支出金 | 975千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 7,308千円 |
| 決算額 | 7,323千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 2,916千円 | 県支出金 | 75千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 2,500千円 | 一般財源 | 1,832千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 南知多町まちづくり協議会補助 | 空き家バンク事業 |
|----------|---|---|
| 事業内容 | 地域のまちづくり協議会（7団体）の情報共有と連携及び情報発信のため、南知多町まちづくり協議会を運営します。 | 増え続ける空き家の有効活用を通じて、本町への移住及び定住促進による地域の活性化を図り、空き家の利活用を推進するための補助をおこないます。人口の流出を抑制し、地域でおこなうまちづくりを持続可能なものにするため、地域活動の新たな担い手となる移住者と地域住民との積極的な交流を図ります。 ・首都圏人材確保支援事業費補助金 1,000千円 ・空き家対策総合支援事業費補助金 900千円 (拡充) |
| 基本施策① ※① | 3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ | 2-5 新たなチャレンジを創る起業支援 |
| 基本施策② ※① | 2-4 何度も訪れたいくなる観光・交流 | 3-3 資源を活かす土地利用 |
| 基本施策③ ※① | | |
| 重点政策 ※② | | |

実施 (DO)

| 主な事業 | 南知多町まちづくり協議会補助 | 空き家バンク事業 |
|----------|--|---|
| 予算額 | 2,927,000円 | 11,747,000円 |
| 決算額 | 2,748,847円 | 4,573,718円 |
| 財源（一般財源） | 248,847円 | 1,583,427円 |
| （その他） | 2,500,000円 | 2,990,291円 |
| 執行率 | 93.9% | 38.9% |
| 事業実績 | 町まちづくり協議会事業 町まちづくり協議会 会議 6回 先進地視察 1回 情報提供 11回 コミュニティ助成事業 実施主体：師崎区 購入備品：ノートパソコン、カラー複合機、インバーター発電機等 | 空き家バンク事業 空き家等登録数 7件 利用登録者数 68人 契約成立物件 11件 空き家バンク制度補助金 10件 「関係人口創出・拡大事業」モデル事業 事業の連携主体：篠島まちづくり会 |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 南知多町まちづくり協議会の開催と情報提供 | 空き家バンク制度の契約成立件数 |
|-------------------|--|--|
| 目標値 | 10回/年 | (成約件数) 15件/年 |
| 実績値 | 18回/年 | (成約件数) 11件/年 |
| 達成度 | 達成 | 未達成 |
| 担当課評価 ※③ | 地域まちづくりの事業活動の内容を広く町民等に発信することができた。また、師崎区にコミュニティ活動に必要な備品の整備ができた。 | 利用登録者数に対し、空き家の登録物件数が不足しているといった、需要と供給のバランスが取れていないことが問題となっている。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 ③ 4 5 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 ③ 4 5 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | 改善・対応策 | 推進方針 ※⑤ |
|--|--|---------|
| 地域のまちづくり事業への更なる住民等の積極的な参加の機会の創設とは対比的に、コロナ禍による今後のまちづくり協議会の事業のあり方や感染症防止対策の徹底について新たな課題が生じている。 | コロナ禍での感染防止と地域活動の両立を図るため、リスクへの対応が整わない場合については中止又は延期とするなどきめ細かい対応を行う。 | A B |
| 利用登録者のニーズに対応するため、登録物件数を増加させることが課題である。 | 物件登録促進のため、空き家所有者に対し、空き家の利活用に対するニーズや多様な活用方法とともに、空き家を所有し続けるデメリットについても、民間企業との連携を図り、各種情報発信を行う。 | B |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要 協働と連携のまちづくりの推進と定住・交流人口の増加を目指します

担当課 まちづくり推進室
地域振興係 内線322・323

予算科目 2 款 1 項 8 目 5 事業 地方創生推進事業費（空き家・まちづくり推進事業）

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------|-------|---------|------|-----|----|-----|-----|-----|------|---------|
| 予算額 | 18,100千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 9,050千円 | 県支出金 | 0千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 9,050千円 |
| 決算額 | 12,009千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 6,004千円 | 県支出金 | 0千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 6,005千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 移住定住交流促進事業 | まちづくり推進事業 |
|----------|--|---|
| 事業内容 | 空き家の有効活用と移住・定住促進により地域の活性化を図るため、空き家利活用セミナーの開催や不動産専門家の派遣により、活用されていない空き家を掘り起こし、空き家の流動化を進めます。移住定住及び関係人口創出のためのフェアに出展するなど移住の促進を図ります。 | 協働と連携のまちづくり推進を目的に、地域住民が自主的に取り組む活動や各地域のまちづくり協議会（7団体）が主体となって実施する活動に対して支援をおこないます。 ・地域振興等支援事業補助金 ・まちづくり協議会運営費補助金 ・まちづくり協議会事業費補助金 |
| 基本施策① ※① | 3-3 資源を活かす土地利用 | 3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ |
| 基本施策② ※① | 3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ | 1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり |
| 基本施策③ ※① | 2-4 何度も訪れたい観光・交流 | 2-4 何度も訪れたい観光・交流 |
| 重点政策 ※② | 1 ② ③ | 1 2 ③ |

実施 (DO)

| 主な事業 | 移住定住交流促進事業 | まちづくり推進事業 |
|----------|---|--|
| 予算額 | 9,100,000円 | 9,000,000円 |
| 決算額 | 5,812,000円 | 6,197,000円 |
| 財源（一般財源） | 2,906,000円 | 3,098,500円 |
| （その他） | 2,906,000円 | 3,098,500円 |
| 執行率 | 63.9% | 68.9% |
| 事業実績 | 空き家活用による移住定住促進事業 空き家利活用セミナー 8回 移住交流フェア 1回 移住体験プログラム 4回 空き家バンク物件登録促進業務 物件登録促進業務 9件 アドバイザー派遣業務 8件 | 地域振興等支援事業補助金 1件 まちづくり協議会運営費補助金 7件 まちづくり協議会事業費補助金 13件 |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | まちづくり協議会等の事業に企画・立案など主催者側で参加した移住者数 | 事業費補助金と支援事業補助金の採択件数 |
|-------------------|--|--|
| 目標値 | 4人/年 | (事業費) 15件/年、(支援事業) 5件/年 |
| 実績値 | 4人/年 | (事業費) 13件/年、(支援事業) 1件/年 |
| 達成度 | 達成 | 未達成 |
| 担当課評価 ※③ | 空き家利活用セミナーの参加者が2人移住するなど一定の成果を得たが、費用対効果が高いとまでは言えないことが問題である。 | コロナ禍で各まちづくり協議会の活動が思うようにできなかったことが大きく影響している。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 ③ 4 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 ③ 4 5 高い | 低い 1 2 ③ 4 5 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | 事業を持続可能なものにするため、費用対効果を向上させることが課題である。 | コロナ禍でイベントの延期や中止などが続いており、今後のイベント等の開催が予定しにくい状況にある。 |
|---------|---|--|
| 改善・対応策 | 民間事業者と連携して取り組むことで、民間事業者の知見による事業の効率化や移住希望者の満足度向上を図り、費用対効果を向上させることを目指す。 | コロナ禍で地域も元気がなくなってきていることから、感染症対策等をしっかりと実施したうえでイベント等が開催できるように最大限の協力をする。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | A |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要

南知多町空家等対策計画に基づく空家等対策事業を実施します

担当課 まちづくり推進室
空き家対策係 内線324・325

予算科目

2 款 1 項 13 目 2 事業 空家等対策事業費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|---------|------|-------|---------|------|---------|----|-----|-----|-----|------|---------|
| 予算額 | 9,005千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 4,000千円 | 県支出金 | 2,000千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 3,005千円 |
| 決算額 | 4,737千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 1,916千円 | 県支出金 | 958千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 1,863千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 特定空家等対策支援事業 | 特定空家等候補調査業務 |
|----------|---|--|
| 事業内容 | 特定空家等の内、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となる恐れがある状態にあるもので、危険度及び緊急度が高いものは、除却費用の一部を支援します。 <補助金の額> 補助対象経費の5分の4かつ上限80万円(国費1/2、県費1/4、町費1/4) | 町民から情報提供のあった管理不全な状態にある空家等について、特定空家等候補として調査を行い、南知多町空家等対策協議会において特定空家等の判断をする際の基礎資料を作成します。 ①再調査物件(離島5件) ②新規物件(半島側14件、離島7件) |
| 基本施策① ※① | 3-3 資源を活かす土地利用 | 3-3 資源を活かす土地利用 |
| 基本施策② ※① | 3-2 つながりを活かした交通安全と防犯 | 3-2 つながりを活かした交通安全と防犯 |
| 基本施策③ ※① | 3-1 まちと命を守る防災 | 3-1 まちと命を守る防災 |
| 重点政策 ※② | 1 2 ③ | 1 2 ③ |

実施 (DO)

| 主な事業 | 特定空家等対策支援事業 | 特定空家等候補調査業務 |
|----------|-------------|---|
| 予算額 | 8,000,000円 | 766,000円 |
| 決算額 | 3,833,000円 | 765,600円 |
| 財源(一般財源) | 959,000円 | 765,600円 |
| (その他) | 2,874,000円 | 0円 |
| 執行率 | 47.9% | 99.9% |
| 事業実績 | 交付件数 5件 | 再調査物件 5件 (半島側1件、離島側4件) 新規物件 17件 (半島側13件、離島側4件) |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 特定空家等の除却の補助 | 特定空家等候補調査業務の実施 |
|------------------|--|--|
| 目標値 | 10件/年 | 26戸/年 |
| 実績値 | 5件/年 | 22件/年 |
| 達成度 | 未達成 | 未達成 |
| 担当課評価 ※③ | 補助対象を拡充したが、コロナ禍による経済的影響を理由に、申請件数が伸びていないため、目標値を下方修正する必要がある。 | 大型物件の調査を実施したことにより予算は執行したが、前年度に比べ管理不全な状態にある空家等の情報提供が減少しており、目標値を下方修正する必要がある。 |
| 基本施策有効評価(妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |
| 費用対効果評価(効率性) ※④ | 低い 1 2 ③ 4 5 高い | 低い 1 2 ③ 4 5 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|------------------------------------|---|
| 課題 | 特定空家等の所有者等の負担を軽減させる施策が必要である。 | 現状では空家等の情報提供が減少傾向ではあるものの、今後も空き家が増加することが予測されており、継続して事業を実施するため、財源を確保することが課題である。 |
| 改善・対応策 | 特定空家等の所有者等に対する補助金以外の負担軽減策の実施を検討する。 | 国庫補助等の活用が可能になるよう、事業内容の変更について検討する。 |
| 推進方針 ※⑤ | C | C |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要

南知多町地域公共交通網形成計画に基づき、町民の通勤・通学・通院などの日常生活を支える公共交通の維持・活性化を図ります

担当課 まちづくり推進室
公共交通係 内線322・323

予算科目

2 款 1 項 14 目 1 事業 公共交通対策事業費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----------|------|-------|---------|------|-----|----|-----|-----|----------|------|-----------|
| 予算額 | 146,817千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 0千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 10,082千円 | 一般財源 | 136,735千円 |
| 決算額 | 136,298千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 3,750千円 | 県支出金 | 0千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 22,602千円 | 一般財源 | 109,946千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 地域公共交通活性化・再生総合事業 | | | コミュニティバス運行事業 | | |
|----------|---|----------------|---|--|----------------|---|
| 事業内容 | 海っ子バスの運行を関係者や地域住民等と協議し、使い勝手の良いバスとするため改善の方向性を検討し、公共交通の利用を促進します。地域公共交通網形成計画を改訂し、将来の望ましい公共交通ネットワークの構築と運行方法の検討を実施します。 | | | 通学、通勤、通院等の生活の利便性の向上と観光利用の促進を図り、公共交通の確保・維持のためコミュニティバス「海っ子バス」を運行します。 | | |
| 基本施策① ※① | 3-5 | 暮らしを支える地域公共交通 | | 3-5 | 暮らしを支える地域公共交通 | |
| 基本施策② ※① | 3-4 | 安心な暮らしを支えるインフラ | | 3-4 | 安心な暮らしを支えるインフラ | |
| 基本施策③ ※① | | | | | | |
| 重点政策 ※② | 1 | 2 | ③ | 1 | 2 | ③ |

実施 (DO)

| 主な事業 | 地域公共交通活性化・再生総合事業 | | コミュニティバス運行事業 | |
|-----------|---|--|--|--|
| 予算額 | 6,621,000円 | | 140,196,000円 | |
| 決算額 | 4,446,101円 | | 131,851,808円 | |
| 財源 (一般財源) | 4,446,101円 | | 105,499,808円 | |
| (その他) | 0円 | | 26,352,000円 | |
| 執行率 | 67.2% | | 94.0% | |
| 事業実績 | <ul style="list-style-type: none"> 乗降調査 (6月29、30) バス利用者アンケート調査 (6月29、30) 南知多町地域公共交通活性化・再生協議会開催 6回 タウンミーティング開催 5回 時刻表の印刷 10,000部 南知多町地域公共交通網形成計画更新 | | <ul style="list-style-type: none"> 海っ子バス運行委託 97,761千円【レスクル株式会社美浜営業所】 海っ子バス購入 22,770千円【中型バス 1台】 運賃改定に伴う減収補てん 9,353千円【知多乗合株式会社】 | |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | タウンミーティングの開催 | 海っ子バス運行本数の維持 |
|-------------------|---|-------------------------|
| 目標値 | 10回/年 | 16往復 (32便) /日 |
| 実績値 | 5回/年 | 16往復 (32便) /日 |
| 達成度 | 未達成 | 達成 |
| 担当課評価 ※③ | 毎年1月頃に高齢者対象のタウンミーティングを行っていたが、コロナ禍での高齢者対象ということを考慮し中止とした。 | 運休や大きな事故等もなく運行することができた。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | 改善・対応策 | 推進方針 ※⑤ |
|--|---|---------|
| タウンミーティングではグループワークを毎年行っていたが、コロナ禍ということもありグループワークを中止した。 | タウンミーティングの開催の仕方など、いかに密にならずに多くの人の意見をもらえるかを検討していく。オンライン開催やアンケート形式などを検討していく。 | A |
| 少子化・人口減少により町の人口が減っていくなか、いかに今のサービス水準を維持しつつ経費を抑制できるのかが課題である。 | タウンミーティングで出た意見をできる限り反映し、住民の利用しやすいバスにする。電子チケットの導入など観光客にも利用しやすいバスとする。 | A |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討